

## 齋藤元彦県知事の疑惑についての見解

2024年7月22日

日本共産党兵庫県委員会

齋藤県知事をめぐる県幹部からの内部告発が行われましたが、事実を確認もせず、「嘘八百」「事実無根」「公務員失格」などと決めつけ、公益通報者の保護義務をはたさず、内部調査により懲戒処分をしました。

しかし業者からの贈答品や、職員への叱責などの事実が明らかになり、処分ありきの内部調査に対し、批判の声がひろがるとともに、告発者の自死という最悪の事態を含む混乱に陥っています。

「県政を前にすすめるのが私の責任」と開き直り、いまの事態を招いたことに、反省する姿勢すら示さない齋藤知事に、これ以上、県政運営を任せるわけにはいきません。

日本共産党兵庫県委員会は、齋藤知事に対し、こうした事態を招いた責任をとり、辞職することを強く求めます。

同時に、県議会が設置した百条委員会では、告発者が示した7項目について徹底した調査を行い、真実を明らかにすることが必要です。

わが党議員団も百条委員会で役割を果たし県政の信頼回復をはかるために、全力を尽くすことを県民のみなさんにお約束します。

日本共産党兵庫県委員会は、県民のいのちと暮らしが優先される兵庫県政、そして職員のみなさんがハラスメントがなく心理的安全性が確保され、県民に寄り添った県政のために力が発揮できる県庁の実現をめざします。そのために、「憲法が輝く兵庫県政をつくる会」や広範な県民のみなさんとともに、来たるべき県知事選挙に向けて、県政の転換をはかるために奮闘する決意です。